

Data(2016年8月現在)

所在地: 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030

スタッフ: 芝山江美子(教授), 佐藤美由紀(准教授)

URL <http://www.kait.jp/>



神奈川工科大学看護学部看護学科 公衆衛生看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は5学部13学科を擁する理系総合大学です。2013(平成25)年には、創立50周年を迎えました。建学の理念の中核をなす「豊かな教養と幅広い視野を持ち、創造性に富んだ技術者を育てて科学技術立国に寄与する」を具現化すべく、時代の動きを捉え、社会で活躍できる人材養成を実践してきました。

看護学部看護学科は、2015(平成27)年4月に開設した一番新しい学科です。地域交流などを積極的に展開していくことで、常に現場の問題や課題を意識できる学習環境を用意しています。また、豊かな教養と幅広い視野をもち、創造性に富んだ技術者を育て、看護師として生涯成長し続けるための資質と能力、他の医療関係者と連携・協働して、地域社会の医療体制の整備と充実に寄与することのできる人材を育成しています。

Education

どのような教育をしていますか？

1年次にはスタディスキルの講座を開設し、大学での学び方を身につけ専門教育へのスムーズな移行を促しています。そのほか、厚木という地域を活かしたフィールドワークやインターンシップなど、学外での学びも多く取り入れ、実践力の養成に力を入れています。また、教育・福祉・保健医療などの分野については、それぞれの実習をサポートする機関を設置し、実習教育の質の向上と充実に図っています。2012(平成24)年度から公衆衛生看護学は選択制となりました。保健師国家試験受験資格課程は、選考試験(2学年次秋学期終了時)に合格した者のみ

が履修できます。めざす保健師像としては、各種の問題にぶつかりながらも地域の人々とともに、より健康的な地域づくりを創造的に進めていける、豊かな人間性をもつ人材です。

Research

どのような研究をしていますか？

教員が各自テーマ(限界地域の高齢者、高齢者の役割見直しにより創出された主体的地域活動等)をもちながら研究に取り組んでいます。現場から見てきた課題、地域包括ケア体制の構築、母子や高齢者、在宅等のグループ支援など幅広い地域の課題に取り組む、さまざまな活動を明らかにすべく努力をしているところです。研究を実践していくためには、現場との連携がとても重要です。住民からも期待されていることは何かを常に意識しながら進めていきたいと考えています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

看護学科は2015年4月に開設したために、現在、公衆衛生看護学概論を2年生が学び始めています。健康教育学や専門職間連携活動論なども随時始まり、人々の健康的な活動を実践するために、実習で多職種の専門職に学び、それらの出会いを踏まえて連携に関する1つの事例を検討し、統合されたケアが提供できるような体験学習を行います。

また、秋からは保健師選抜試験が始まります。近隣市町村・保健所とも密に協力体制を組み、効果的な学習に向けて連携しています。現場の保健師とも一緒に課題に向き合い、試行錯誤しながら取り組むことができるように支援していきます。

ひとこと

キャンパス内の木々の変化や、多様な山の顔を研究室から眺め、癒される環境で教育できることに日々感謝しています。新しい看護学科で充実のカリキュラムを構築することの責任を感じていますが、この大学で学習できてよかったと思えるような環境を提供し、学生に羽ばたいてほしいと願っています。

……芝山

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集しています。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp